

- ・文化財を活用したまちづくりは、仕組みづくりが重要で、活動を継続して価値観の共有化を図っていく必要がある。

■講評

- ・Aグループは「プロデューサー・ネットワーク・人」、Bグループは「文化財の活用が重要（評価が必要、分布図・散策図が必要）」、Cグループは「行政と市民の連携が重要、PR・人の育成・地域別の特徴づくり、住んでも来ても楽しい足利市」の提案があった。
- ・文化財には、外向きの発信（入込客を増やし、滞在・周遊させ、見学・宿泊・食・土産等でお金を使わせる）と、内向きの発信（足利の文化財を通して、文化・学習・交流の機会を創る）があり、足利の個性を内外に発信することが重要です。

3 シンポジウム

足利市歴史文化基本構想策定について市民に普及啓発するとともに、市民に基本構想案を示すためシンポジウムを開催した。

■テーマおよび趣旨

テーマ：「この故郷（まち）の歴史と文化を伝えてゆくのは、わたしたちですー。」

足利市歴史文化基本構想シンポジウム 市民(みんな)が主役!!文化財を活用したまちづくり」

■開催日時

平成22年9月5日(日) 13:00~17:00

助戸公民館ホール 参加費：無料 参加者：86名

■プログラム

1. 歴史文化基本構想の概要(13:10~13:40)

- ①「文化財総合的把握モデル事業について」梅津章子氏(文化庁文化財部伝統文化課)
- ②「足利市歴史文化基本構想について」足立佳代(足利市教育委員会文化課文化財保護担当)

2. 基調講演(13:40~14:30)

「歴史と文化からまちづくりを考える」西村幸夫氏
(東京大学先端科学技術研究センター教授)



西村氏による基調講演

3. 事例発表(14:30~15:30)

- ①「足利庭園文化研究会の活動について」
足利庭園文化研究会 代表 外丸実氏
- ②「足利市文化財愛護協会の活動について」
足利市文化財愛護協会 副会長 市橋一郎氏
- ③「NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークの活動について」NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク
理事 中島洋一氏

4. パネルディスカッション(15:45~17:00)

コーディネーター：蟹江好弘氏(足利市歴史文化基本構想等策定委員会委員長)

パネラー：西村幸夫氏(東京大学先端科学技術研究センター教授)

：中島洋一氏(NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク理事)

：外丸実氏(足利庭園文化研究会代表)

：市橋一郎氏(足利市文化財愛護協会副会長)

：日下部高明氏(足利市歴史文化基本構想等策定委員会副委員長)

：梅津章子氏(文化庁文化財部伝統文化課)

：足立佳代(足利市教育委員会文化課文化財保護担当)



パネルディスカッション